

こんど選ばれる議員の態度が問われます

保守・無党派、市民の共同ひろげ 市民のキッパリした**審判**を

日本共産党

- ◆利益を最優先する大企業に運営権を売ったら、水道水の安全は守れません。料金値上げの危険も。
- ◆水道は、「生存権の保障、安くて安全な水をすべての国民に供給すること」(水道法)です。
- ◆世界では水道民営化して料金値上げ(パリ3.5倍)、水質悪化の失敗などから再公営化が37カ国、235事業にのぼっています。

水道民営化

水はすべての命の源
大企業の儲けの手段にする

許さ
ない

合区・再編

地域を壊し
市民サービスをカットする

反対

- ◆合併して13年。「サービスは高く負担は低く」の公約どころか「サービス低下、負担増」。合区されれば、さらにひどくなることは明らかです。
- ◆目的は大企業のための財源づくりにあることは、「究極の『行革』は区削減」(鈴木修氏)の発言が示しています。

「住民投票」には

- ①「3区案」にも
- ②「2021年1月までの再編」にも

反対に○を

大もとには

安倍政権による財界中心の「地域こわし」が

県・市議選4月7日投票

浜松市ただ一人の
共産党県議を中區から



ひらが高成

中區・県議会議員

市政と県政で連携

市政で

共産党議席増やして市民の
願い実現にパワーアップ!



【中 區】
小黒けい子



【東 區】
おちあい勝二



【南 區】
松本 和信

参議院選7月



井上さとし
参院議員

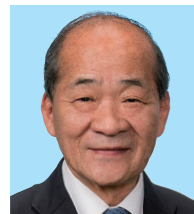
比例代表



鈴木
ちか
静岡県選挙区
党県女性児童部長



【北 區】
松下たかお



【浜北区】
北島さだむ



【天竜区】
酒井とよみ

くらし・福祉・教育まもる

日本共産党

市議会議員

小黒けい子

安倍政権の強引な改憲、消費税10%、社会保障切捨てはもうガマンできません。

国の悪政の「防波堤」となるべき市政が福祉や住民サービスを削り、区の再編や水道民営化に躍起となっているのも異常です。こんな政治は変えなくてはなりません。

私は14年間、市議会厚生保健委員として、くらし・福祉の充実に全力をあげてきました。また、毎日の切実な生活相談活動や「浜松女性議員の会」代表として党派を超えて女性の地位向上にも力を尽くしてきました。

今後も、誰もが安心してくらせる市政へ全力をあげます。



JCP静岡西部

略歴●1952年生まれ。萩丘小学校、高台中学校、浜松市立高校卒業。●浜松民主商工会事務局に勤務。結婚後、夫と鉄工所を経営。業者婦人の地位向上のために運動。●2003年浜松市議選初当選(現在4期目)。●趣味・特技／華道・松月堂古流教授、ドライブ、音楽鑑賞。●家族／夫。長男、次男は独立。

まもろう憲法9条
許すな消費税10%
水道民営化、区再編

安倍政治サヨナラの年に

市民しんぶん

2019年2・3月号外 日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご要望をお寄せください。

発行●日本共産党静岡県西部地区委員会 浜松市中区上島2-13-17 ☎053 (474) 2145 FAX (474) 2146

子どもたちに責任持てる政治を期待



住吉在住 永吉智映子さん

一生懸命働いている大人が将来に不安を抱いて生活しなくてははいけない…。そんな背中を子たちに見せたくありません。未来を担う子どもたちが生まれてきて良かった～幸せだと思ってもらえる、偽りのない明るい社会に変えてください。

財政力は政令市
トップクラスなのに

くらし福祉は

バッサリ
切捨て

安倍政権・大企業いいなりの

浜松 市政を変えましょう

安倍政権と浜松財界いいなりに
「行革」「地域こわし」を推進する冷たい市政を
日本共産党の議席増で「市民本位」に変えましょう。

日本共産党 小黑けい子



ここが大問題 浜松市政と市議会

大企業には 大盤ぶるまい

企業誘致のため
(企業立地支援事業)

108.7億円
(2007～2017年)

中心市街地活性化事業

遠鉄百貨店新ビルだけでも5億円
(2011年)

13億円

さらに19年度から
スズキ浜松工場(都田)に

50億円(推定)
(県7億円含む)



大企業優先、市民に冷たい予算に

自民、公明、創造浜松、市民クラブは賛成

日本共産党は、ムダづかいや負担増にはキッパリ反対し、市民にとっていいことには賛成してきました。

「逆立ち」です
お金の使い方が

市政の役割は
住民の福祉の
向上
(地方自治法)

市民向け予算は 毎年カット

国保料値上げ

一人当たり113,190円(年額)に
重度心身障がい者医療費負担増
入院費 月500円
⇒1日500円(月限度額5,000円)

バス・タクシー券廃止(2017年度)

公共施設の統廃合
市営住宅、三ヶ日体育館、なかよし館、
はまホールなどを廃止

幼稚園、小・中学校統廃合も次々と
体育館・グラウンド使用料値上げ



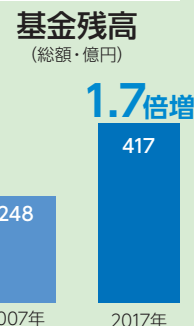
全国トップクラスの財政力をもっとくらしの応援に

財源はあります

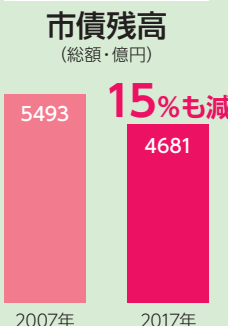
財政力指数 9位
政令市20市中

自由に使える
財政調整基金 105億円
(2018年度見込)

基金は増



借金は減



国・県に支援を求めて 国保・介護の負担軽減

10億円で可能

県・市の支援増と全国知事会が求めている国費1兆円投入で
均等割・世帯割をなくし、国保料一人1万円引下げを

高齢者の「足」確保、「買い物難民」なくす バス・タクシー券の復活を

バス路線の充実

子どもの医療費は 高校卒業まで完全無料に

県下35市町で入院・通
院とも自己負担がある
のは浜松市だけ

業者の仕事確保、耐震対策のために 住宅耐震補強・リフォーム助成を

中小業者を支援し、働くもののくらしを守る 最低賃金を時1,000円以上に

市議2▶5名に増えて

くらしを守る力を
発揮しています

日本共産党

願い届ける

発言力 アップ

- 5つの常任委員会すべてに委員を送り、切実な願いを反映
- 本会議での質問回数が2.5倍に

願いを提案して

実現力 アップ

- 保育園・幼稚園・小中学校にエアコン設置(2020年8月までに)
- 母子家庭の医療費助成1回500円の窓口払いに(2018年10月)
- 浜北体育館の存続・改築

悪政を許さない

チェック力 アップ

- 区再編の問題点をズバリ告発
- 水道民営化の問題点を真っ先に追及。反対世論の先頭に

国保料引き下げを要請する党市議団(18年12月)▶

